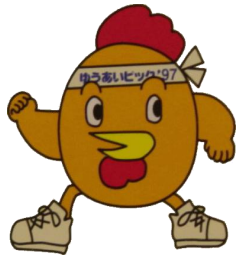
# あいしる あいち「かける」記




**第33号　　2020年 10月25日(日)**

発行責任者:　愛知県障害者スポーツ指導者協議会　顧問　森長研治



〒461-0011　名古屋市東区白壁一丁目50番地　愛知県社会福祉会館
愛知県社会福祉協議会　福祉生きがいセンター内
http://www.aslad.com/


**今日は　県内の数か所で大会等が開催された　それら全てに　と思ったが**
**時間的な都合もあって難しく　名古屋市内と刈谷市内におじゃました**
二つの催しについて 「写真集」として編集しました

## 愛知県グランドソフトボール大会　　愛知県立名古屋盲学校グランド

「新型コロナ禍」の関係で　今年度初めてとなった大会　愛知県A･Bチームの対戦となった
快晴で影に入ると寒いくらいに涼しい丁度良いコンディションのグランドだった

8時を回った頃から　2人　4人　3人　と
集まって来た選手の皆さん　いつも思うのだが
試合や練習のみならず　移動についても
チームでカバー
　　し合っている
それが　当たり前の
ことなんだろうけど
私などには　到底できない　と思える

主将を中心に　役割分担によって
グランド整備　ライン引きなど　手際よく行われていった

そして「整列」 監督の訓示そしてスケジュール確認
この時は　決まっていた　真剣な表情の皆さんだった

守備　打撃等練習を終え　いよいよ試合開始

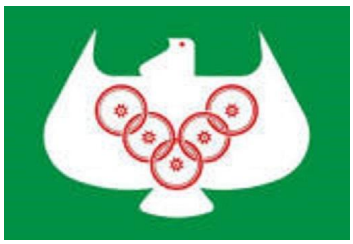
そこで　監督からの声
始球式 「お前が投げろ」あまりに　唐突で
ビックリした　でも嬉しかった

40年くらい前からの　細々とではあるが長い
おつきあいの「グランドソフトボールチーム」

平成6年　地元愛知県で開催された
「ゆめぴっくあいち」での　みなさんの雄姿が
懐かしく思い出された

## 第30回全国身体障害者スポーツ大会「ゆめぴっくあいち」の記憶から

あの頃は　若かった
　　当たり前だけど・・・・・・



愛知青少年公園（現　モリコロパーク）

そんな昔を思い出しながら　皆さんの姿を追った
若い方も加わって　先輩が引っ張って
チームが「躍動」しているではないか

来年２０２１は　「三重とこわか大会」だ
チーム一丸となって　お隣の「とこわか」に！
そんな　雰囲気がみなぎっていた
　　来年は　期待できるぞ　そう思えた
ファイト　チームあいち

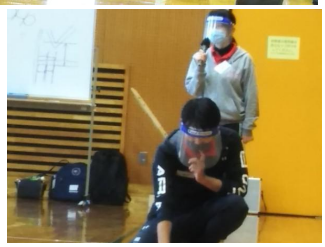
いいぞ　いいぞ　みえ

かっとばせ　あいち
いいぞ　いいぞ　あいち

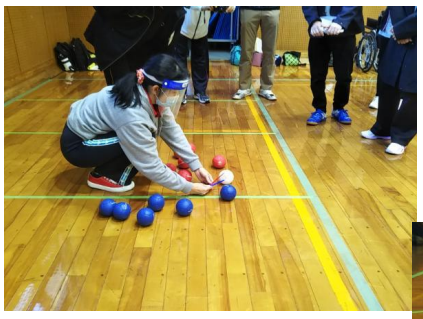
始球式を終え「こそッ」と抜けて　刈谷に向かった

# 愛知県ボッチャ競技審判養成研修会　　刈谷市心身障害者福祉会館

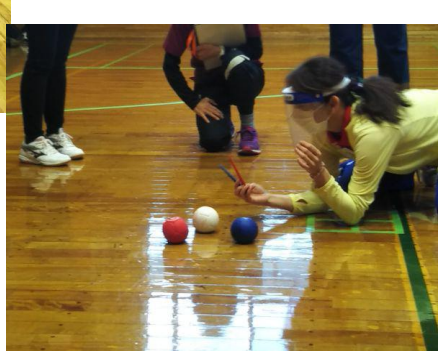
老若男女障害の有無にかかわらず　とりくんだ



2021



神経を集中させての
微細な計測に
みんなが注目



真剣な表情

その瞬間　会場が静まりかえった

**先週から　突然　やってきた**

「催事ラッシュ」だが「新型コロナ禍」 感染が拡大すれば　再び「閑古鳥が鳴く」
いや　それ以前に　自ら　一人一人の命が脅かされることになりかねないのだから・・・・

これからも　感染予防策に万全を期すことになろうが 「神経を遣い　できることはする」
収束の見通しが利かず　分からないことばかり故に 「用心のし過ぎ」は　ない様に思う

ただし　そのことでスポーツ「そのもの持っている力　醸し出す魅力を失ってしまってはならない」と思うのです
自らのできることを十二分に発揮して 「スポーツの魅力」と「人の可能性」を　より多くの人たちと　共に
**分かち合うこと　如何なる時も　そのことを大切にしたいもの　あらためてそんなことを感じた　2日間だった**
**２０２１の秋は　三重県に行こう**

K・MO